

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス まんまるはあと		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語療法士を取り入れ、言語を取得しながら、子どもたちの言語取得を行っていること。	言語療法士の指導の元、STがない時には、できる限りSTで取り入れていることを日々の活動で取り組むようにしている。言葉遊び、日々の会話、読み聞かせ等。	全職員が、言語取得に対する意識を統一させて、できる限り同じ様にしていくこと。
2	系列の事業所との合同研修を行ったり、月1回行われる会議で職員同士が、療育に対する考え方を揃らせていること。	会議が行われる際には、全職員が参加できるように、事前に予定をお伝えしていること。	時間内で行われる会議なので、目的・目標・議題を脱線せず有意義な会議にできるようにしていくこと。
3	活動内容を、豊富にして、どの曜日にも参加ができるようにしていること。	活動内容の予定を事前に計画建ててしっかりと準備ができるようにしていること。	職員がイベントに参加していけるように、シフトの協力性や・職員の体制を整えて、より一層充実し、新たな活動も増やしていくこと。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内環境	室内のスペースが狭い為、個別の空間が提供できていないこと。	空間がない中でも、仕切りを作りながら行っていくこと。
2	災害時のときの認識が少ない。	避難訓練の実施や、防災センター等にお伺いしているなど、災害に対して保護者様の認識が薄いこと。	保護者様にも、事業所で行っている事や、災害時の対応を見える化して行っていく事。
3	父母の会などの交流が少ないこと。	事業所での、保護者様同士の、育児の悩みや、障がいのお子さんに対する話の場が提供できていないこと。	年2回ほど、予定を組んで、父母会を開催することが出来るようにすること。